## 日本有数の植木のまち

匝瑳市の植木生産は、明治時代に始まったとされ、大正時代になり職業として本格化しました。当時の生産農家はわずか5、6戸で、小ぶりの観賞用樹木を細々と供給しているに過ぎませんでしたが、大正12年に大阪府池田の植木買い付け業者・阪上亥之助(さかがみいのすけ)が病害虫や寒さに強い八日市場のイヌマキに目を付け、これを関西方面に出荷したことがきっかけで、植木生産が広まりました。

現在では、「日本有数の植木のまち」と知られ、植木の生産量、 樹種も全国屈指。近年は中国やヨーロッパなどを中心に、輸出 も拡大しています。植木輸出高日本一の千葉県にあって、伝統 的な植木技術を残すため県が認定する「植木伝統樹芸士」「植 木銘木100選」の大半に本市の職人や植木が選ばれているこ とからも、「匝瑳の植木」は世界に誇れるブランドとも言えます。

	·
1	4
5	5

「千葉県植木銘木100選」に認定された銘木 1.イヌマキ 2.クロマツ 3.ゴヨウマツ 4.キャラ

**5. 植木まつり** 新緑輝く5月の連休に、植木職人自慢の 逸品や彩り鮮やかな植木・花々の展示即売会、植木の出来 栄えを競う共進会が開催されます。

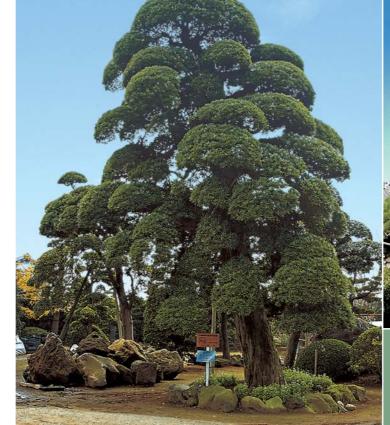


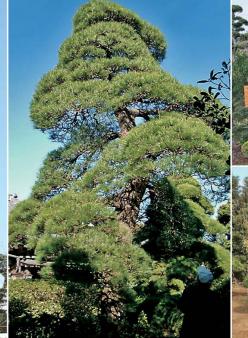
It's been said that it was started in the Meiji period and there was only 5-6 craftsmen who were making small ornamental plants. In 1923 when the era was towards the end of Taisho period an Osaka tradesman found the INUMAKI from Sosa tolerant of cold, pests and diseases. He then shipped this tree to the Kansai area and that is how the industry has started to grow. Nowadays we are one of the top producers within Japan in terms of production volume and variety of species.

Our arborists are also certified by the prefecture as Traditional UEKI craftsmen and chosen for 100 Old trees of historical interest. In recent years we have expanded the trades in exporting to Asia, and Europe and become a brand to be proud of in the world.

▼中国やヨーロッパに向けた植木のコンテナ積み込み作業









Our city is one of the leaders in garden trees and arboriculture in Japan.





目になります。ここ 目になります。ここ 身近な職業として るのを選んだ感じ るのを選んだ感じ を中心に、台湾、で、チャンスと思 で、チャンスと思 を中心に、台湾、で を中心に、台湾、で を中心に、本当は ますけど、本当は ないからので、

有限会社共種庭

有限会社共種園 代表取締役 **江波戸 光一**さん(東小笹)

Special interview

